

テーマ : Web システムのセキュリティとアウトソーシング

- 日 時 : 2008 年 8 月 26 日(火) 13:20 ~ 19:30 [12:50 受付開始]
- 会 場 : 富士通(株)本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 参加対象 : **本会合は、SS 研,CS 研,IS 研会員の皆さまにご参加いただけます。**
- 定 員 : 120 名(予定)
- 連続開催 : 翌日(8 月 27 日)に HPC フォーラム 2008 を開催いたします。

プログラム

開会挨拶	岡村 耕二 (九州大学情報基盤研究開発センター)	13:20 ~ 13:25
情報共有セッション 司会 藤田 直行(宇宙航空研究開発機構)		
(1) 教育 研究分野のストレージソリューションに期待するもの - データマネジメントを意識したストレージソリューション WG 成果報告 - 中京大学 磯 直行	教育・研究分野で使用される大規模ストレージシステムにおいて、既存または今後期待される技術について WG で検討した結果を報告する。特に、大学・研究所で扱うデータの特性やそれらの相互活用を目的としたデータマネジメントとストレージソリューションについて述べる。	13:25 ~ 14:05 報告 :30 分 Q&A :10 分
(2) マルチコア化 CPU の傾向と対策 (株)富士通研究所 久門 耕一	過去 20 年以上に渡り、CPU の性能向上は、周波数の向上と命令並列度の向上により達成されてきた。しかし、最近になり、周波数向上は鈍化し、一時的にせよ低下させしている。周波数向上に代り、チップに搭載されるコア数の増加によって性能向上が図られる方向に転換した。特に PC クラスタのようにコモディティ CPU を使う HPC システムでは、この CPU の方向転換は重大で、この方針変更に従わなければ、公称性能の向上とは裏腹に、実プログラム性能は低下する羽目になる。この変化に対応するには、プログラム側での対応が必要である。 アプリケーションはどの様にすれば、この「CPU の性能向上」を享受できるのだろうか？アプリケーション特性毎に可能・不可能が分かれるが、本報告ではマルチコア CPU から性能を引き出すために知っておく必要があるアーキテクチャの解説とアプリケーション特性について説明する。	14:05 ~ 15:05 報告 :50 分 Q&A :10 分
休憩		
企画セッション 司会 牧野 晋 (麗澤大学)		
(3) 大学・研究所における Web アプリケーションのセキュリティ - 「守るべき情報を持たない」Web サイトにおけるセキュリティの在り方 - (株)ソフテック 芝田 幸彦	昨今「SQL インジェクション」を悪用した無差別の Web サイト改竄が多発しており、Web アプリケーションを取り巻く状況は悪化の一途を辿っている。 Web アプリケーションに攻撃を受けた際のリスクとして、一般的には Web サイトからの情報漏洩が着目されがちだが、個人情報を持たない多くの学術系サイトにおいても、情報漏洩以外に守るべき Web セキュリティが確固として存在する。 それを実現し、安全に Web サイトを開発・運用していくために必要なポイントについてご紹介する。	15:25 ~ 16:25 報告 :50 分 Q&A :10 分
(4) 日本大学における SaaS の導入 - Google との協調による「NU-AppsG」の導入経緯・運用について - 日本大学総合学術情報センター 吉田 誠、相川 成周	レポート・就職活動・緊急連絡網などメールに対する信頼性や即応性という「サービスの質」が問われている。さらに日本最大の学生数を誇る日本大学という事実はシステム構築の上で「量」として多大なコストを要求する。もちろん日々増え続ける迷惑メールについては頭の痛い問題である。この「サービスの質」と「量」という相反する命題を解決するために我々は Google Apps Education Edition を選択した。一方導入に際しては、学内の旧態的な意識改革を進め、Google 側の広告掲載及び契約費用無料等、今までないサービスの概念を浸透させ前例のない契約に至った。 本プログラムでは Google を理解し協調に至るまでの導入経緯と個人情報を守りつつ Google Apps を SaaS として積極活用している「NU-AppsG」について解説する。	16:25 ~ 17:25 報告 :50 分 Q&A :10 分
閉会挨拶 岡村 耕二 (九州大学情報基盤研究開発センター)		
情報交換会 会費 ¥500 # お飲み物と乾き物のみご用意した、簡易的な情報交換会です。		17:25 ~ 17:30 18:00 ~ 19:30

開催趣旨

最近では Web ベースのシステムの完成度が高まり、またその導入の容易さも手伝って、事務処理やメールサービスなど基幹サービスで実用的な利用を始めている会員の機関・大学も増えてきていると思います。このような Web ベースのシステムは、典型的に、フロントエンドでは Web をインタフェースとして使い、バックエンドではサーバが様々なサービスを提供する、いわゆる、サーバサイドアプリケーションの形態をとっています。サーバサイドアプリケーションでは、フロント側とサーバ側の構造的な分離によって、サーバ運用は自組織で行なうこともできるし、外部委託することも可能です。

さて、このようなシステムの運用ではサーバにおけるセキュリティ対策が非常に重要な課題になります。また、サーバ管理を外部に委託する場合、組織から外注先に持ち出すデータの扱いが課題になります。本分科会では、サーバサイドアプリケーションの運用におけるセキュリティの対策に関する講演と、サーバ管理を外部委託した運用の講演を予定しています。本分科会での技術紹介ならびに議論は、これから Web ベースのシステムの導入を検討していたり、現在運用上の問題を抱えている会員に大いに役に立つことが期待できます。

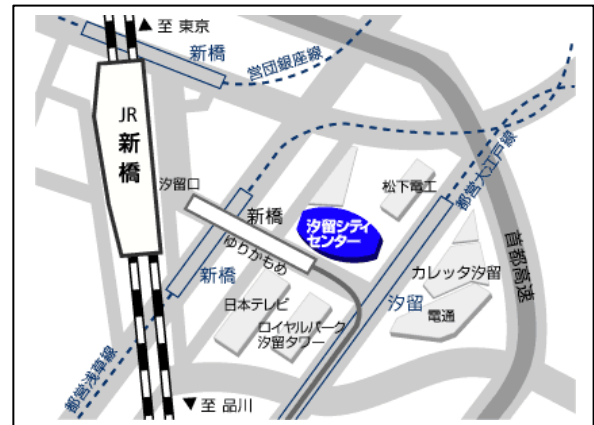
また、本分科会では前半に他分科会の最新トピックスの報告を聞き、現在の先進的な ICT 技術の見聞を広げたいと思います。

会場へのアクセス

汐留シティセンタービル1階「富士通総合受付」にお越しください。

電車でのアクセス

- ・ JR 新橋駅
汐留口（地下1階）から徒歩3分
 - ・ 東京メトロ 銀座線 新橋駅 (G08)
出口4（地下1階）から徒歩3分
 - ・ 都営地下鉄 浅草線 新橋駅 (A10)
汐留方面出口（地下1階）から徒歩2分
 - ・ 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅 (E19)
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口
（地下2階）から徒歩1分
- 羽田空港から新橋駅までのアクセス(約30分)
- ・ 東京モノレールと JR 山手線
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅
 - ・ 京浜急行と都営浅草線
羽田空港 から 都営浅草線 新橋駅 (A10)
#成田空港行や押上行など、都営浅草線直通電車をご利用ください。



参加について

- 参加対象： SS 研, CS 研, IS 研会員の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費： 無料 ただし情報交換会に参加される場合は、会費として 500 円を徴収させていただきます。
- 定員： 120 名(予定)です。
- 服装： クールビズをお勧めします。(室温 28)
- ご注意： 当日、会場にお越しいただく際のエレベータは、昼食時 13:00 くらいまでの時間帯は、大変な混雑が予想されます。ご注意ください。
- なお、当日お越しの際はお名刺をお持ちください。

お申し込み 詳細 (SS 研ウェブサイト)

お申込み/詳細

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/activity/sectionmeeting/stg/program2008-1.html>

お問い合わせ】SS 研究会事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 富士通(株)カスタマーリレーション 部内
TEL :03-6252-2582 FAX :03-6252-2934 URL:<http://www.sskn.gr.jp/> E-mail:ssken@ssken.gr.jp